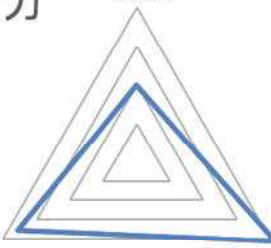
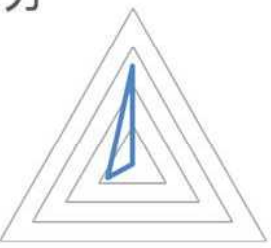



第6学年西組 道徳科学習指導案

「責任と規律ある行動『会話のゆくえ』[A 善悪の判断, 自律, 自由と責任]」

学習指導者 矢野 利幸

1 非認知能力等に関する子供(34名)の実態

<p>さ力 社交性</p>  <p>思いやり 協調性</p> <p>「協調性」の自覚度が高く、友達の意見に耳を傾けたり、自分とは違う友達の意見から学ぼうとしたりする様相が見られる。「思いやり」については、自分の考えをもつことが難しい友達に対して、悩んでいることを理解した上で助言したり、相談したりできている子供が多い。一方で、自分から友達と関わることに苦手意識をもっている子供が一部いる。</p>	<p>ぬ力 目標への情熱</p>  <p>粘り強さ 忍耐力</p> <p>「目標への情熱」の自覚度が高く、多くの子供が新しいことを知ることに楽しさを感じられている。普段の授業では、各教科で、既習を基に自分たちで新たな学習課題を設定する姿が見られている。反面、忍耐力や粘り強さへの自覚度が低い。特に忍耐力における「苦手なことへも自分から挑戦している」や「まじめにこつこつ取り組んでいる」といった項目についての自覚度が低い。</p>	<p>き力 自分を信じる力</p>  <p>回復力 自制心</p> <p>自制心が高く、「目標を達成するために我慢して取り組んでいる」と感じられている子供が多い。また、「自分には得意なことがある」と多くの子供が自覚できている。一方で、「今の自分のことが好きである」や「いやなことがあってもすぐに気持ちを切り替えられる」という項目の自覚度が低く、自分のできていないところに着目しがちな傾向が見られる。</p>
--	--	---

2 内容項目に関する子供の実態

インターネットで他者と関わる経験をしたことがある子供は34名で、使用したことのあるツールについては、ロイロノートが34名、Skypeが30名、LINEなどのコミュニケーションツールが26名、オンラインゲームが24名、メールが15名であった。また、「このようなツールを用いて他者と関わる時、どのような問題が起きているか知っていますか」の質問については、29名が「知っている」と答え、「実際にオンラインゲームをしていてトラブルになった経験をしている」子供が7名、「ロイロノートを使った交流で関係ない画像を送り合ったことがある」子供が3名、「youtubeを視聴していてコメント欄へのアンチコメントを見たことがある」子供が2名、「LINEグループで友達とけんかをしたことがある」子供が1名と、学級内に実際にトラブルを経験したことがある子供が13名いることが分かる。

3 個別支援が必要な子供の実態

A児…さ力については、「社交性」の自覚度が低く、自分から話しかけることが苦手である。ぬ力については、目標への情熱を自覚できているものの、困ったときに工夫することに苦手意識を感じている。自分の考えをまとめられずに、立ち止まってしまう姿も見られている。

B児…普段の授業では、自分の考えをもち友達と交流する姿が見られているが、ぬ力については、忍耐力や粘り強さに関わる項目にすべて1を付けるなど、自己評価の低さが見られる。

4 教材『会話のゆくえ』（学研：『みんなの道徳 6年』）のあらすじ

あゆみの在籍する6年1組は、もうすぐ行われる合唱コンクールに向けて練習を一生懸命行っている。あゆみは、「もっと上手になりたい」という気持ちから、そのことをスマートフォンを使って、いつも連絡を取り合っているグループに伝える。「優勝するにはどうしたらいいと思う」と、前向きな会話を始めるも、パート同士で互いの注意点を指摘し合う雰囲気になってしまう。そして会話は、この場にはいない友達を対象にした悪口へと変わっていく。当人がいない場で行われる悪口について、「悪いよ」と伝えるあゆみに対し、「急にいい子にならないでよ」とさやが怒りをぶつけ、ぱたりと会話が途絶えてしまう。すっかりしない気持ちを抱え、あゆみはふとんの中に入るのだった。

5 目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

高学年においては、自主的に考え、行動しようとする傾向が強まる時期である。一方で、自由の捉え違いをして相手や周りのことを考えず自分勝手な振る舞いをしてしまうことも見られる。また、自律的で責任のある行動をすることの意味やよさがあまり分かっていない子供もいる。指導に当たっては、自由に伴う自己責任の大きさについて、自分の意志で考え判断し行動しなければならない場面やその後の影響を考えることなどを通して、多面的・多角的に理解できるようにすることが重要である。そのことが、自らの自律的で責任のある行動についてのよさの理解を一層深めていくことにつながるのである。

インターネットで他者と関わるツールに親しむ中で、トラブルの経験がある子供たちは、本教材を身近な問題だと捉え、インターネットで正しく関わるためにどのような心が大切か考えていく。登場人物の言動から「会話が途絶えてしまった」理由を整理し、自由に扱えるインターネットで他者と適切に関わるためには、「未来を考える心」や「相手を思いやる心」などの責任と規律ある行動につながる心が大切だと理解していく。そして、その中から、自分が一番大切にしたい心を選び、選んだ理由を対話していく。例えば、『未来を考える心』が大切だと考えたよ。私も後のことを考えない軽い気持ちで悪口を言って、友達を傷つけてしまったことがあるからだよ」「ぼくは、『相手を思いやる心』が大切だと思ったよ。相手の気持ちを考えたら自分勝手な言葉にならないし、いじめも防げると思うからだよ」などと対話していく。このような対話を通して、責任と規律ある行動について多面的・多角的に考え、その価値について理解を深めていく。そして、その理解を基に、改めて自分の生き方について振り返ることで、自分の課題に気付いて改善しようという思いや自分のよさを大切にしていよいよよく生きたいという願いを高め、実生活でも責任と規律ある行動を取ろうとする態度を身に付けていくのである。

6 主張点

（1）自分自身の問題として受け止めるようにするための働きかけ【みんなの経験】

補助黒板に、インターネットで他者と関わった経験や、その際にどのような問題があるのかについての調査結果を掲示しておき、教材と実生活を繋いで捉えられるようにする。教材を一読した後、登場人物が正しい使い方ができていたか意識させ、教材から学びたい心を問うことで、「インターネットで正しく関わるためには、どんな心が大切なのだろう」といった思いを表出させ、本時の目当てを設定する。

（2）多様な考えを理解できるようにするための働きかけ【色いろ交流カード】

ぱたりと会話が途絶えてしまった場面が本教材の中心場面である。登場人物を四つの立場に分け、それぞれの立場で会話が途切れてしまった問題点を整理することで、それを基に責任と規律ある行動についてのキーワードをまとめられるようにする。そして、『あなたはどの心が一番大切だと思いますか』と主発問を行い、まとめたキーワードから大切にしたいものを選び、色分けしたカードで示すことで対話を促し、選んだ理由を伝え合いながら多面的・多角的に考え、責任と規律ある行動についての理解を深めたい。

（3）自分のよさを実感し、これからの生き方につなげる働きかけ【三つのハート】

友達と対話した後、「これまでの自分」「これからの自分」「友達からの学び」の三つの観点を示し、本時の学習を振り返ってノートに記述する時間を設定する。記述したことについて、ペアで相互評価する場を設けることで、自分のよさや協働のよさなどを実感させたい。

7 本時の学習

ね ら い	善悪の判断や自由に伴う自己責任についての理解を基に、インターネットで正しく関わるために大切な心について考え、対話することを通して、責任と規律ある行動についての理解を深める。その理解を基に、自分の生き方について考え、責任と規律ある行動を取ろうとする態度を養う。
-------------	---

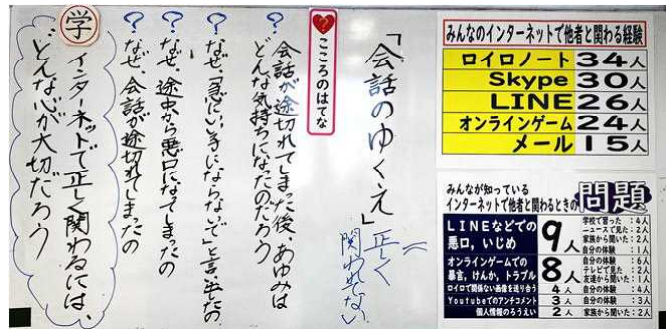
	学習活動	主な子供の意識												
導 入	1 目当てを設定する。 【みんなの経験】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">みんないろいろなツールで人と関わる経験をしているのだね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">実際にトラブルを経験した友達もいるんだ。正しい関わり方が大切だね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">この話の登場人物たちは正しくない関わり方をしているよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">この話から、ネット上で正しく関わるために大切な心について考えよう。</div>												
		インターネットで正しく関わるためには、どのような心が大切だろう												
展 開	2 問題点を整理し、道徳的価値を明らかにする。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;">さやは、自分勝手だよ。な○こやあゆみの気持ちを全然考えていない。</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">ゆっこやりかは、正しい判断ができていない。見られてなくても傷つくことはいけない。</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">あゆみの言葉は誤解されてしまったのかも知れない。相手にどう伝わるか考えなければ。</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">ひろみんたちは、これ以上関わりたくないと思って、見て見ぬふりをしたのかも。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;">これらはいじめにつながる問題だからこそ、未然に止めないといけない。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">『相手を思いやる心』が大切だ。自分勝手の裏返しの心だと思うからだよ。</td> <td style="padding: 5px;">善悪を『正しく判断する心』が大切だ。もし止めていけば、こんなことはならなかったはずだよ。</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">『未来を考える心』が大切だ。いじめを防ぐためにも、発言を考えないといけない。</td> </tr> </table>	さやは、自分勝手だよ。な○こやあゆみの気持ちを全然考えていない。	ゆっこやりかは、正しい判断ができていない。見られてなくても傷つくことはいけない。	あゆみの言葉は誤解されてしまったのかも知れない。相手にどう伝わるか考えなければ。	ひろみんたちは、これ以上関わりたくないと思って、見て見ぬふりをしたのかも。	これらはいじめにつながる問題だからこそ、未然に止めないといけない。				『相手を思いやる心』が大切だ。自分勝手の裏返しの心だと思うからだよ。	善悪を『正しく判断する心』が大切だ。もし止めていけば、こんなことはならなかったはずだよ。	『未来を考える心』が大切だ。いじめを防ぐためにも、発言を考えないといけない。	
さやは、自分勝手だよ。な○こやあゆみの気持ちを全然考えていない。	ゆっこやりかは、正しい判断ができていない。見られてなくても傷つくことはいけない。	あゆみの言葉は誤解されてしまったのかも知れない。相手にどう伝わるか考えなければ。	ひろみんたちは、これ以上関わりたくないと思って、見て見ぬふりをしたのかも。											
これらはいじめにつながる問題だからこそ、未然に止めないといけない。														
『相手を思いやる心』が大切だ。自分勝手の裏返しの心だと思うからだよ。	善悪を『正しく判断する心』が大切だ。もし止めていけば、こんなことはならなかったはずだよ。	『未来を考える心』が大切だ。いじめを防ぐためにも、発言を考えないといけない。												
	3 自分が一番大切にしたい価値を選び、その理由を交流する。 【色いろ交流カード】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自分だったら、どの心を一番大切にしたいかな。</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">『相手を思いやる心』を大切にしたい。受け取る側の気持ちで考えたら自分勝手な発言も防げるし、傷つけないと思ったからだよ。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">『正しく判断する心』を大切にしていきたい。だめと思ったことを伝えることが、悲しい思いをす友達を減らすことにつながると思うからだよ。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">『未来を考える心』を大切にしたい。軽はずみな発言をして友達が傷つけた時、後のことを考えればよかったと思ったからだよ。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">友達の考えを聞いて、『正しく判断する心』も、友達を傷つけないために大切だと思ったよ。</td> <td style="padding: 5px;">どの心も大切で、全部が自分の言葉を見直し、いじめを生まないことにつながっていることが分かったよ。</td> </tr> </table>	『相手を思いやる心』を大切にしたい。受け取る側の気持ちで考えたら自分勝手な発言も防げるし、傷つけないと思ったからだよ。	『正しく判断する心』を大切にしていきたい。だめと思ったことを伝えることが、悲しい思いをす友達を減らすことにつながると思うからだよ。	『未来を考える心』を大切にしたい。軽はずみな発言をして友達が傷つけた時、後のことを考えればよかったと思ったからだよ。	友達の考えを聞いて、『正しく判断する心』も、友達を傷つけないために大切だと思ったよ。		どの心も大切で、全部が自分の言葉を見直し、いじめを生まないことにつながっていることが分かったよ。						
『相手を思いやる心』を大切にしたい。受け取る側の気持ちで考えたら自分勝手な発言も防げるし、傷つけないと思ったからだよ。	『正しく判断する心』を大切にしていきたい。だめと思ったことを伝えることが、悲しい思いをす友達を減らすことにつながると思うからだよ。	『未来を考える心』を大切にしたい。軽はずみな発言をして友達が傷つけた時、後のことを考えればよかったと思ったからだよ。												
友達の考えを聞いて、『正しく判断する心』も、友達を傷つけないために大切だと思ったよ。		どの心も大切で、全部が自分の言葉を見直し、いじめを生まないことにつながっていることが分かったよ。												
終 末	4 本時の学習を基に、自分の生き方を振り返る。 【三つのハート】	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">これまでの自分は相手の気持は考えられていたけど、正しい判断ができていないと思った。○○さんのように、相手に合わせるだけでなく、自分の思いをはっきり伝えていきたい。</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">友達の考えから、ゲームやロイロノートなど、関わり方を考えなければいけない時がたくさんあると気付いた。これまでも意識していたけど、これから自分の言葉に責任をもちたい。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">自分の考えのよさに気付けたよ。生活につないでいきたいな。</td> </tr> </table>	これまでの自分は相手の気持は考えられていたけど、正しい判断ができていないと思った。○○さんのように、相手に合わせるだけでなく、自分の思いをはっきり伝えていきたい。	友達の考えから、ゲームやロイロノートなど、関わり方を考えなければいけない時がたくさんあると気付いた。これまでも意識していたけど、これから自分の言葉に責任をもちたい。	自分の考えのよさに気付けたよ。生活につないでいきたいな。									
これまでの自分は相手の気持は考えられていたけど、正しい判断ができていないと思った。○○さんのように、相手に合わせるだけでなく、自分の思いをはっきり伝えていきたい。	友達の考えから、ゲームやロイロノートなど、関わり方を考えなければいけない時がたくさんあると気付いた。これまでも意識していたけど、これから自分の言葉に責任をもちたい。													
自分の考えのよさに気付けたよ。生活につないでいきたいな。														

評 価	責任と規律ある行動についての価値理解を基に、自分が一番大切にしたい心を表すキーワードを選び、選んだ理由を対話することを通して、多面的・多角的に考えを深め、自分のよさや課題に気付いて、責任と規律ある行動を取ろうとする気持ちを高めている。【方法：発言・様相・記述】
--------	--

8 働きかけの詳細

～導入（見通し）～ **学習活動1** 【みんなの経験】

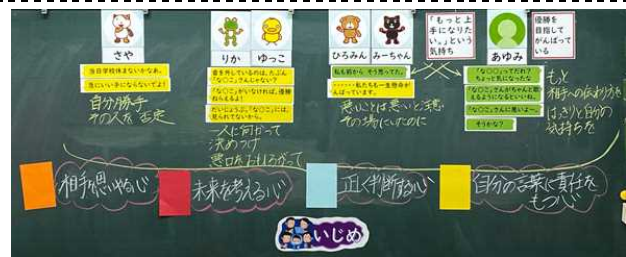
補助黒板に、インターネットで他者と関わった経験や、その際にどのような問題があるのか知っていることについての調査結果を掲示しておくことで、教材と実生活を繋いで捉えられるようにする。教材文を一読した後に、登場人物が正しく関わっているかを意識させ、「この話からどんな心について勉強をしたいですか」と問うことで、「インターネットで正しく友達と関わるために大切な心について考えたい」といった思いを表出させる。表出された子供の思いを全体で共有し、本時の目当てを設定する。



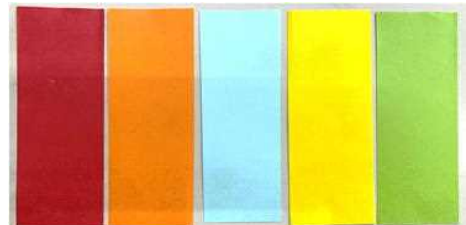
【みんなの経験】

～展開（行動）～ **学習活動2** **学習活動3** 【色いろ交流カード】

学習活動2では、教材文から問題点を見だし、自由と責任についての価値理解を深めていく。その際、「あゆみ」、「さや」、「ゆっこ・りか」、「ひろみん・みーちゃん」といった四つの立場について、問題だと感じた行動について話し合っていく。子供の発言に応じて考えの理由を問い、それぞれの問題となる行動が「な〇こ」を傷つけ、いじめにつながることを捉えられるよう整理して板書することで、会話が途切れてしまった原因とそれが引き起こす更なる問題を明確にする。そうすることで、正しく関わるために大切な心について「未来を考える心」「正しく判断する心」「相手を思いやる心」などの責任と規律ある行動の理解につながるキーワードにまとめていけるようにする。



学習活動3では、改めてオンラインゲームやLINEなどの使用の実態を意識できるよう助言する。そして、「赤：後のことを考える心」、「青：正しく判断する心」、「黄：相手を思いやる心」などから自分が一番大切にしたい心を選択し、その理由を交流する。カードの枚数については、子供がキーワード化した心の数に応じて、柔軟に設定する。交流では、選んだカードを胸ポケットに入れ、互いのカードの色を見て、意見を聞きたい友達とペアを作り、そのカードを選んだ理由を対話していく。必ず自分と同じ色を選んだ友達と、違う色を選んだ友達と関わるよう活動を設定することで、子供は、自分と友達の考えを比較しながら多面的・多角的に考え、責任と規律ある行動について理解を深めていけるようにする。その際、A児については、自分の考えを作ったりペアを見付けて交流したりできるよう個別に助言する。また、B児については、自信をもって自分の考えを伝えられている様子を称賛したり、教師が質問し考えを価値付けたりする。そうすることで、粘り強く取り組めたという達成感を実感できるようにしたい。



【色いろ交流カード】

～終末（振り返り）～ **学習活動4** 【三つのハート】

友達との対話を通しての自分の考えの変容を意識させ、責任と規律ある行動について考えたことを振り返る。その際、右のような、「これまでの自分」「これからの自分」「友達からの学び」の三つの観点で、ノートに振り返りを記述する時間を設定する。記述できた子供からペアになり、相手の振り返りの記述の中でよいと思うところに赤で下線を引き、友達の考えから学んだり、自分の課題に向き合ったり、前向きに努力しようとしていたりしていることを称賛し合うことができるようにする。



【三つのハート】